

教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切にする子  
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子

	学校だより <b>高松</b> 令和7年1月8日 発行	立川市立第五小学校 校長 関口 保司 〒190-0011 立川市高松町1丁目1番25号 TEL 042-523-5238~9 042-523-5230 (こだま学級) FAX 042-529-0854 HP <a href="http://www.tachikawa.ed.jp/es05/">http://www.tachikawa.ed.jp/es05/</a>
---	-----------------------------------	--

## 3学期スタート

校長 関口 保司

令和7年、新しい年が始まり、今日から3学期がスタートしました。今年は巳年。私は3学期始業式で子どもたちに次のような話をしました。

「今日から3学期がはじまりました。今年の干支は「巳（へび）」です。へびは何度も脱皮を繰り返しながら、どんどん大きくなる生き物です。ぜひ皆さんも、これまでの自分自身という殻を打ち破り、どんどん大きく成長していく一年にしてください。そのために何をするか。まず第一に、できそうなことから目標を立てましょう。次に、その目標に向かって努力することです。努力は決して裏切ることはありません。目標が実現できることもあれば、場合によっては実現できないこともあるでしょう。でも、努力はドラマを生みます。一生懸命に取り組む姿は、自分自身を大きくするし、周りの人にも影響を与えます。第五小学校の皆さんが、へびが脱皮を繰り返して大きくなるように、この一年で大きく成長することを願っています。」

さて昨年末に、文部科学省では、次期学習指導要領に向けて「初等中等教育における教育課程等の基準等の在り方について」が、中央教育審議会に諮問されました。今の子どもたちが社会で活躍する2040年代を展望すると、情報社会はどんどん進化し、生成AIも発展していきます。新たなツールが生まれてくるかもしれません。少子化や高齢化の問題は深刻です。世界に目を向けると、協調・競争と分断・対立により混迷の度を増しています。また気候変動に伴う自然災害は激甚化しています。社会の先行きの不確実性は、これまでになく高まっていると言えるでしょう。それだけに、これからの子どもたちには、「主体的に学びに向かう姿勢」が大切だと私は考えています。また学んだことを生かそうとする「主体的な社会参画への姿勢」が重要になるでしょう。

本校ではタブレットPCをはじめ、電子黒板の活用やカラー印刷機の導入等を行い、デジタル学習基盤を構築してきました。立川市民科等の学習では、地域と関わり、探究的な学習を進め、地域を大切にしたいや地域に貢献しようとする姿勢を育ててきました。本年は、これまでの取組をより一層強め、学校としても大きく発展できる一年にしていきたいと決意しています。本年も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。